

# 12月5日 朝礼 校長講話

今日も部活動や文化面でみなさんのたくさんの活躍をこうやって紹介することができ、とてもうれしく思います。

昨日から「人権週間」に入り、それに関連してこの後人権担当の先生からのお話もあるので、手短にお話をします。

今から矛盾した話をします。「矛盾」という言葉はわかりますか。中国の昔の話からできた言葉で、「矛（ほこ）」と「盾（たて）」の話です。昔、「この矛（ほこ）はどんなものでも突き刺すことができる矛だぞ」と言う人がいて、一方で、「この盾（たて）は、どんな矛でもはね返す強い盾だ」と言う人がいました。その矛と盾が互いに戦ったらどうなるだろうという話からできた、「相反すること」という意味です。

皆さんはおうちの人や担任の先生から「自分を大切にしてください」とよく言われると思います。「かけがえのない命」「世界に一人しかいない自分」そんな自分をすばらしい人間だと思い、大切にすることはとても大事なことです。しかし、一方で、皆さんの周りにはいる人のことはどうでしょうか。自分のことを大切に思うがあまり、周りの人を「自分とは違うから」「自分が一番すばらしいから」という理由で批判したり悪く言ったりしていないでしょうか。でも、よく考えてみてください。皆さんが「自分を大切にしている」と同じように、皆さんの隣にいる人、周りにはいる人もまた「かけがえのない人」なのです。ご両親やそのまたご両親から受け継いだ大切な命をもち、大切にされている人なんです。ですから、自分のことを大切に思うと同時に、周りにはいる人も大切にしてください。矛盾していると思うかもしれませんが、それはとても大切なことです。

では、この後、人権担当の先生からのお話を聞いてください。